漱石と龍之介 房総の旅

文豪 夏目漱石は、明治 22 年 8 月の学生時代に、友人と房総各地を旅して回った。房総漫遊の時のことを漢詩まじりの漢文体で綴った紀行文が、正岡子規に激賞された『木屑録(ぼくせつろく)』。その漱石を師と仰いだ芥川龍之介は、大正 5 年 8 月、同じく漱石の門人で友人の久米正雄とともに千葉県の一宮海岸を訪れ、滞在中にいくつかの手紙を出したり受け取ったりしている。人生のターニングポイントとなる大事な手紙。いったい誰との――?

名だたる文豪がこの房総の地とどのように関わったのか、 また、彼らの人間関係がどのようにつながっていたかなど、 明治・大正時代のさまざまな文人たちの素顔に迫ります。

夏目漱石 (1867-1916)





芥川龍之介 (1892-1927)

なかたに じゅんこ

●講師 中谷 順子 氏 (詩人·評論家)

●目時 6 /9 (土) 13:30~15:30 (開場 13:00)

●会場 千葉県立東部図書館 3 階研修室

●定員 60名 聴講無料

●申込受付 4/28 (土) より 来館・電話・FAX・メールのいずれか。

●お問い合わせ 千葉県立東部図書館 TEL 0479-62-7070 FAX 0479-62-7466 E-mail elib-kouza@mz.pref.chiba.lg.jp



(裏面)

送付先:千葉県立東部図書館 読書推進課

FAX: 0479-62-7466 (送付票不要)



日付

6/9(土) 文学講座 参加申込書

氏 名	電話番号	お住まいの市町村

注: 申込書記載の個人情報については、本講座に関わる連絡の必要が生じた場合にのみ使用させていただきます。

千葉県立東部図書館 〒289-2521 旭市ハ349

TEL: 0479-62-7070 FAX: 0479-62-7466

*JR 総武本線「旭駅」から 徒歩約15分

